

直売の盛んな恵庭市・長沼町を視察

もぎたて朝市会視察研修実施

六月十五日、もぎたて朝市会（福岡隆子会長 会員一〇名）では、恵庭市のえこりん村や長沼町の夢きららなど直売所の視察を行いました。

特に長沼町の道路沿いには多くの直売所が並び、また、野菜や花苗が売れ始めの時期にもかかわらず、店頭には豊富な種類の商品が並び、非常に直売が盛んな様子が伺えました。会員たちもその直売の盛んな様子に刺激を受け、立ち寄った店舗では、自らの出店に活かせる糸口をみつけようと手に取った商品一つ一つをつぶさに見ていました。



これ全部野菜で出来てます！
恵庭市・えこりん村（花の牧場）



会員の皆さんで記念の一枚。
恵庭市・えこりん村（花の牧場）



綿山さんも酒井さんも真剣な眼差しです。
長沼町・夢きらら



店頭を彩る花苗が美しいです。
恵庭市・道の駅「花ロードえにわ」

美味しミニトマトのたためど

「太陽の瞳」果実内部品質調査実施

六月三十日、J Aしずくない野菜集出荷センターにおいて、日高農業改良普及センターの協力を得て、静内のブランドミニトマト「太陽の瞳」の果実内部品質調査を実施しました。

本調査は、平成二〇年より当J A独自で実施しており、今回で通算六回目の調査となりました。今年は、今回の六月、八月、そして、十月の三回を予定しており、ミニトマトの食味を左右する糖度と酸度、加えてビタミンC（クエン酸換算）の数値を計測することで「太陽の瞳」の商品価値を科学的な数字を根拠に市場へアピールし、販売していくことを目的としています。

今回の調査で、「太陽の瞳」生産農家三戸から採取したサンプルは全体的に糖度・酸度ともに高く、食味が濃厚であるとの結果が出ました。このような調査を春・夏・秋に実施することにより、季節ごとの食味の平準化、栽培技術の向上にも繋がります。また、地域内の食味のバラつきを少なくすることは、産地形成の強化、ブランド力を高める結果へと発展していきます。



今回のミニトマトの味は濃厚です！



デジタルビューレットで酸度を計測しています。